

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	-	拘束の定義を理解し、現在行っているベット柵の使用について振り返り、定義に準じた対応が必要である。	現在行っている片面にベット柵を使用することが拘束になるのか再度検討し振り返ることで拘束の定義を理解する。 拘束と判断したら、解除する事を努力目標とする。	マニュアルをもとに学習会を行い今後の行動につなげていく。 拘束をなくす対応策として・視線内介護、常に関心を向ける、入床前のトイレ誘導、最良の方法を工夫し検討を重ねていく。	12ヶ月
2	25 28	各個人に即した介護計画を立案できる様、アセスメントシートの充実が必要である。	アセスメントシートを最大限に活用することで、具体的な介護計画に反映することができる。	全てのスタッフがアセスメントシートの記入に慣れる様実践していく。 ご利用者の変化を速やかに記入し情報の発信源とする。 ケースカンファレンス時には、具体的な介護計画を立案した、目標を低くする等で達成感をこころがける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。